



平成27年5月期

# 株主通信

2014.6.1 ▶ 2015.5.31



## 株主メモ

事 業 年 度	6月1日～翌年5月31日
定時株主総会	8月
基 準 日	5月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
公告の方法	電子公告の方法によります。ただし電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載 URL	<a href="http://www.phamarise.com/">http://www.phamarise.com/</a>
証券コード	2796(東証一部)

## 株主優待のご案内

株主様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、長期的に当社株式を保有していただくこと、並びに当社グループの事業に対するご理解をより深めていただくことを目的として、株主優待を行っています。

対 象 株 主	11月30日基準で当社株式を1単元(100株)以上保有されている株主様
優待の内容	当社推奨の予防医療グッズ(メディカルアロマ・医療用サプリメント等)3品の中からおひとつを選択いただきます。

ファーマライズホールディングス株式会社  
<http://www.phamarise.com/>



採用サイト  
<http://recruit.phamarise.com/>



お問い合わせ先

経営企画部

TEL:03-3362-7130 FAX:03-3362-7190  
E-Mail:[ir@phamarise.co.jp](mailto:ir@phamarise.co.jp)

証券コード 2796

## 新たな挑戦、私たちはセルフメディケーション・サポート分野への本格的な進出に向けた取り組みを開始いたします

代表取締役社長 大野 利美知

### Q セルフメディケーション・サポート分野へ進出する意義について教えて下さい。

私たちはこれまで、「調剤を科学するプロフェッショナル集団を目指す」というポリシーのもと、全国の地域に対して優れた薬物医療を提供するために真摯な取り組みを続けてまいりました。そして医薬分業の進展のなか、特に処方せんに基づく薬物医療(メディケーション)の分野で国民医療に貢献すべく活動してまいりました。昨今の国民医療費の適正化に関する議論からは、セルフメディケーションに対する社会的要請や期待並びにそのニーズは一段と高まっているものと想定されます。

セルフメディケーションとは、「国民が自ら症候・傷病を判断し医療製品を用いること」であり、「自らが自身の健康を管理すること」と考えます。私たちは、処方せんに基づくメディケーション分野に軸足を置きながら、より幅広いメディケーション・ニーズに対応しサポートしていくことにより、今まで以上に広範な患者や利用者のニーズや期待に応えていきたいと考えております。

そしてこの挑戦を成功させることは、当社グループの成長や事業基盤の安定に寄与するものと確信いたしますので、株主の皆様の期待にも応えられるものと考えています。

### Q 当期(2014年6月1日～2015年5月31日)の業績について教えて下さい。

当期の連結業績は、売上高が395億6百万円(前期比3.4%増)、営業利益11億4千3百万円(同27.3%減)、経常利益9億9千7百万円(同21.6%減)、当期純利益2億2千7百万円(同38.3%減)となりました。

売上高の増加は、前期に取得した連結子会社が寄与したこと、出店が順調に進んだこと、得意分野である地域医療(在宅医療及び施設調剤)や後発医薬品の一層の推進により技術料売上が増加したこと等によるものです。

利益面につきましては、「かかりつけ薬局」としての機能強化に向け、人員の増強を図ったこと、また、今後の業務運営の合理化の基礎となるレセプトコンピュータのグループ内における統一化等のシステム投資を進めたことが主な要因となり、費用負担が膨らみ減益となりました。

### Q 次期(2015年6月1日～2016年5月31日)の業績予想について教えて下さい。

売上高につきましては、当期以降にM&Aで取得した2社(株式会社川口薬局、有限会社ドゥリーム)の寄与や新規出店の効果、地

域医療及び後発医薬品の推進並びに一般用医薬品の取扱拡充、加えて新業態・新型店舗の開発等により、引き続き増収基調を維持してまいります。

利益面につきましては、「かかりつけ薬局」や「健康づくり支援薬局」に向けて薬局機能の一層の強化を図る計画であり、これに伴う費用の増加が見込まれますが、一方で、仕入管理の更なる見直しや、レセプトコンピュータを活用した在庫の一元管理などの合理化、調剤機器の集中的な導入による業務の効率化により、費用の増加を吸収し、売上総利益率につきましては、前期と同水準に維持していく計画です。

また、事業会社の統合を積極的に推し進めるとともに、店舗家賃の見直しなどによる経費削減を図り、増益を目指してまいります。

以上により次期の業績は、売上高が420億円(前期比6.3%増)、営業利益13億3千5百万円(同16.8%増)、経常利益11億6千万円(同16.2%増)、当期純利益3億3千5百万円(同47.0%増)と予想しております。

### Q 中期経営計画(第30期～第32期)について教えて下さい。

当社グループが推進してまいります中期経営計画「チャレンジ2017～セルフメディケーション・サポートへの進出と選ばれる会社を目指して」は次期を初年度とする3カ年計画であります。

本中期経営計画におきましては、第27期(2013年5月期)より第29期(2015年5月期)まで推進してまいりました「調剤薬局サービスの高付加価値戦略であるソフト戦略」と「調剤薬局の地域密着戦略であるハード戦略」の基盤の上で、新たな事業領域である「セルフメディケーション・サポート」分野へ進出すると同時に、

- 患者及び利用者の皆様に選ばれる薬局
- 「非調剤」分野事業の拡大
- 投資家に選ばれる会社

の3つのテーマに沿った施策を実行していくことを基本方針といいたします。

まず一つ目の「患者及び利用者の皆様に選ばれる薬局」のために、患者情報の一元管理に向けた取り組みの強化、重複投薬や飲み合わせの指導並びに残薬確認の徹底、24時間対応への取り組み強化、

後発医薬品の継続的推進を実施してまいります。

二つ目の「非調剤分野事業の拡大」につきましては、従来からの医学資料の保管・管理業務等に加え、処方せんを持たない利用者にも来店していただける店舗開発と併せ、一般用医薬品、医療材料・衛生材料及び、機能性食品等の品揃えを充実させ、それらの販売を強化してまいります。

三つ目は、「投資家に選ばれる会社」を目指します。企業価値を高めるため、着実な成長を維持しつつ、子会社再編等を加速させ経営効率を高め、資本効率の向上を目指します。

経営指標における3年後の目標としては、売上高を525億円以上、ROE(自己資本純利益率)は5%以上とすることあります。またROEにつきましては、将来的には10%を目指したいと考えております。

### Q 株主還元について教えて下さい。

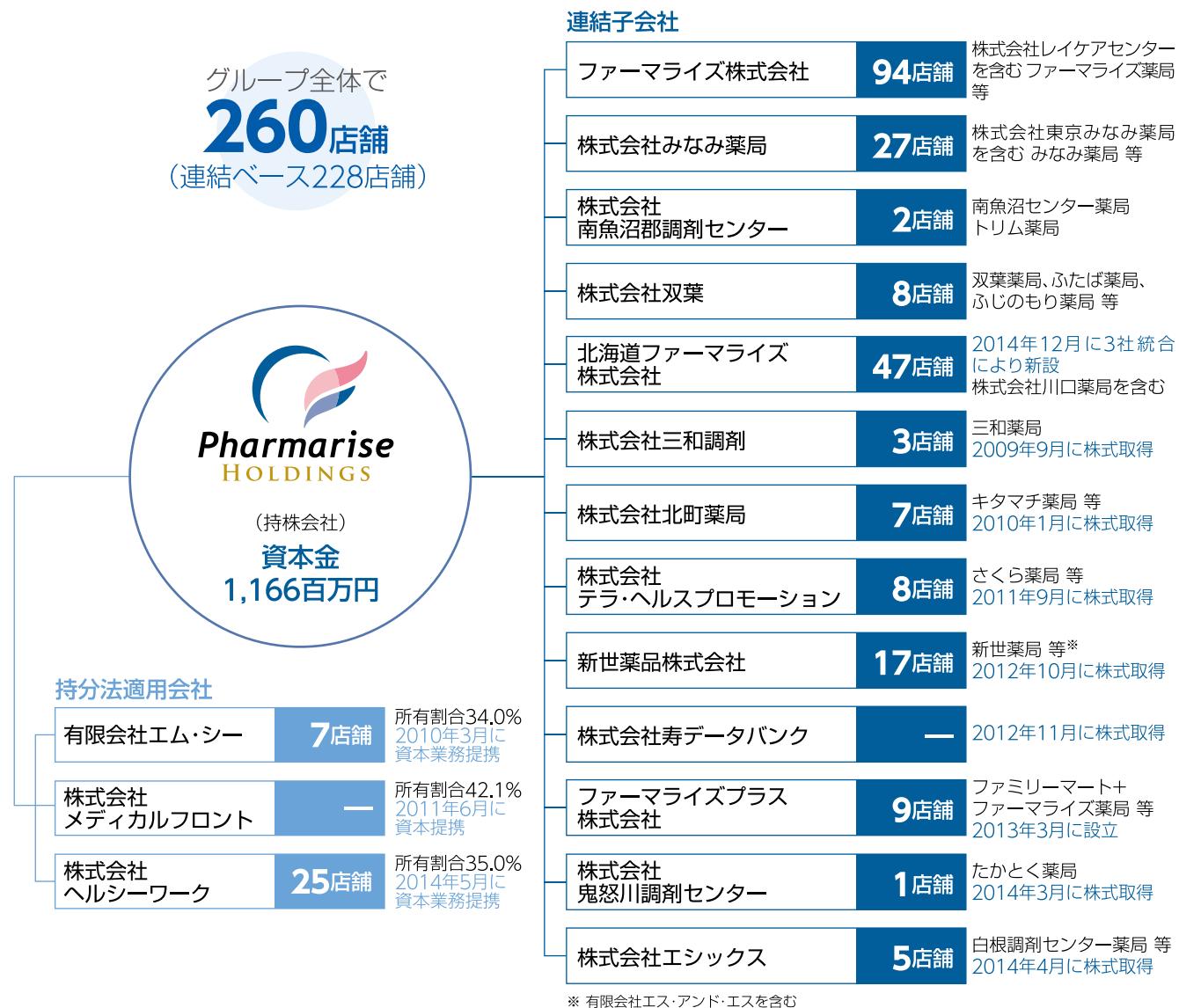
当社株式は2015年1月21日に東京証券取引所市場第一部銘柄に指定されました。これを記念するとともに、株主の皆様に感謝の意を表すため、当期(2015年5月期)の期末配当金につきまして、普通配当14円に記念配当2円を加え、1株当たり16円と決定いたしました。次期の期末配当金につきましては1株当たり14円を予定しております。

株主優待につきましては、次期におきましても中間期末(11月末)を基準日として、当社が取り扱うメディカルアロマあるいは医療用サプリメント等を株主優待品として選択いただく予定です。

### Q 株主、投資家の皆様へメッセージをお願いいたします。

私は、企業の存在理由を「人と社会をより良くするため」と考えております。人と社会が求めるものは時代とともに変遷します。企業は時代の変化に伴って、人と社会をより良くするために自らを成長させることで存続するしかないと思います。そして成長することで人や社会に対する貢献を高めていく必要があると考えています。今後とも人と社会のために当社の成長を続けていきたいと思います。

## グループ体系 (2015年5月末現在)



## グループ店舗数\*の推移

\*連結子会社、持分法適用会社の店舗数合計



## 都道府県別出店状況 (2015年5月末現在)





## 血圧測定 血液検査



TOPICS①

### 血圧測定・ 血液検査コーナーの設置

当社では、株式会社ファミリーマートとの業務提携によるコンビニエンスストア併設型店舗の展開や、大手スーパー・マーケット・西友内の出店など、普段の生活の中で処方せん調剤を受けていただける、利便性の高い新業態店舗の開発に取り組んでまいりました。

今後は、この新業態店舗のアクセス性の良さをさらに活かし、従来の調剤薬局機能に加え、近年ニーズが高まっている「セルフメディケーション」や「健康支援」の機能を付加したセルフメディケーション・サポート店舗の開発に取り組んでまいります。これにより、処方せんを持たない方にもお気軽にご利用いただける、健康づくり支援薬局としての店舗展開を目指します。

その第一歩として、ご自身の健康状態をその場でチェックしていただける血圧測定・血液検査コーナーの設置を進めています。薬剤師が薬や健康に関するアドバイスやご相談をお受けしており、高血圧や、血糖値・血中コレステロールが気になる方はもちろん、定期健診を受診する機会がない方などにもご好評をいただいているます。

検査の種類*	調べられること	結果が出るまでの時間
血圧測定	血圧 (最高/最低)	測定後すぐ
血液検査 (ヘモグロビンA1c)	血糖値の コントロール状態	約3分
血液検査 (血中脂質)	血中脂質(中性脂肪・ コレステロールなど)	約8分

\*血圧測定は無料、血液検査2種は有料となります。

TOPICS②

### 資格取得支援制度

処方せん調剤だけでなく、一般医薬品(OTC)の販売、在宅医療、施設調剤、予防医療、健康チェック、健康相談など、これからからの調剤薬局に求められる「健康づくり支援薬局」としての機能は多岐にわたります。当社では「健康づくり支援薬局」と

して必要な3つの機能(健康情報提供・予防医療推進・高齢者サポート)を定め、当社グループの薬剤師や医療事務に対し、それらのスキル向上を目的とした関連資格等の取得支援制度『健康情報拠点化プロジェクト』をスタートいたしました。

機能	関連資格等	概要
健康情報提供	研修認定薬剤師 プライマリ・ケア認定薬剤師	最新の情報を常に入手している薬剤師による服薬指導
	登録販売者資格者	OTC販売可能な知識・経験を備えた医療事務による店頭対応
予防医療推進	アロマテラピー検定1級試験合格	アロマ関連の基本的知識を備えた薬剤師・医療事務
	NR・サプリメントアドバイザー (上級)健康食品管理士資格	サプリメント関連の専門的知識を備えた薬剤師・医療事務
高齢者サポート	緩和薬物療法認定薬剤師 在宅療養支援認定薬剤師	他を凌駕する専門性を備えた薬剤師による緩和医療・在宅医療
	サービス介助士	高齢の方、お身体の不自由な方を受け入れる態勢の整備
	認知症研修認定薬剤師 認知症センター養成講座受講	認知症患者ケアに関し、医師等との連携態勢の構築

TOPICS③

### 開局16店舗(連結ベース)

2015年5月期は、はるとり店(北海道)、都志店(兵庫県)、長岡京店(京都府)、ファミリーマート+ファーマライズ薬局 美浜店(千葉県)、ひらかた市民薬局(大阪府)、八尾店(大阪府)、神明台薬局(埼玉県)、西友田無店(東京都)、西友清瀬店(東京都)、西友吉祥寺店(東京都)、川口薬局 本店(北海道)、西春別店(北海道)、標準店(北海道)、西友ひばりヶ丘店(東京都)、西友成増店(東京都)、江別調剤薬局(北海道)の16店舗を開局いたしました。



## 連結決算概要

### 連結貸借対照表

- 流動資産は、レセプト債権の流動化による売上債権の減少などにより、前期比2億99百万円減少しました。
- 固定資産は、有形固定資産が前期比1億39百万円の増加となりましたが、のれん償却の進展による無形固定資産の減少により、前期比3億51百万円減少しました。
- 流動負債は、借入金は減少しましたが、買掛金の増加により前期比5億12百万円増加しました。一方で固定負債においても、借入金の減少により前期比13億49百万円減少しました。
- 債権の流動化を積極的に進め資金運用の効率化を図った結果、長短借入金及び社債の残高は前期比18億46百万円の減少となりました。また、純資産額は前期比1億82百万円の増加となっております。

### 連結損益計算書

- 売上高は前期比12億85百万円の増収となりましたが、営業利益、経常利益、当期純利益は減益となりました。
- 増収の要因は、前期に実施した連結子会社の決算日変更などにより7億31百万円減少の影響を受けましたが、前期にM&Aで取得した2社の寄与や新規出店の効果等によるものです。
- 減益の要因は、消費税増税及び人員増強並びにシステム化推進等のコスト増加が、技術料収入の拡大や仕入・在庫管理の見直し等による収益向上効果を上回ったためです。

### 連結キャッシュ・フロー計算書

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、債権流動化に伴う運転資金の改善を主な要因として大きく増加しました。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、M&Aによる連結子会社の取得及び事業譲受並びに新規出店等の投資活動を反映しています。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金及び社債の返済に伴う残高の純減を反映しています。

### 連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科 目	平成27年5月期 (平成27年5月31日現在)	平成26年5月期 (平成26年5月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	8,257	8,557
固定資産	15,945	16,296
有形固定資産	6,645	6,505
無形固定資産	6,795	7,209
投資その他の資産	2,504	2,580
繰延資産	22	24
<b>資産合計</b>	<b>24,225</b>	<b>24,879</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	10,624	10,112
固定負債	7,789	9,138
<b>負債合計</b>	<b>18,414</b>	<b>19,250</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	5,592	5,451
資本金	1,166	1,165
資本剰余金	1,234	1,232
利益剰余金	3,191	3,053
その他の包括利益累計額	△17	△25
新株予約権	67	34
少数株主持分	168	168
<b>純資産合計</b>	<b>5,811</b>	<b>5,628</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>24,225</b>	<b>24,879</b>

### 連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科 目	平成27年5月期 (平成26年6月1日から平成27年5月31日まで)	平成26年5月期 (平成25年6月1日から平成26年5月31日まで)
売上高	39,506	38,221
売上原価	33,130	32,208
売上総利益	6,375	6,012
販売費及び一般管理費	5,232	4,440
営業利益	1,143	1,572
営業外収益	156	151
営業外費用	301	451
経常利益	997	1,272
特別利益	3	10
特別損失	57	126
税金等調整前当期純利益	943	1,156
法人税、住民税及び事業税	661	865
法人税等調整額	53	△87
少数株主損益調整前当期純利益	228	377
少数株主利益	0	8
<b>当期純利益</b>	<b>227</b>	<b>369</b>

### 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科 目	平成27年5月期 (平成26年6月1日から平成27年5月31日まで)	平成26年5月期 (平成25年6月1日から平成26年5月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,405	1,306
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,064	△1,708
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,100	490
現金及び現金同等物の増減額	240	87
現金及び現金同等物の期首残高	3,633	3,545
現金及び現金同等物の期末残高	3,873	3,633

### 連結株主資本等変動計算書(要約) (平成26年6月1日から平成27年5月31日まで)

(単位:百万円)

科 目	株主資本				その他の包括利益累計額		新株予約権	少数株主持分	純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券	退職給付に係る評価差額金	その他の包括利益累計額			
平成26年6月1日残高	1,165	1,232	3,053	5,451	1	△27	△25	34	168	5,628
会計方針による累積的影響額			36	36						36
会計方針の変更を反映した平成26年6月1日残高	1,165	1,232	3,089	5,487	1	△27	△25	34	168	5,664
連結会計年度中の変動額のうち										
新株の発行	1	1		2						2
剰余金の配当			△125	△125						△125
当期純利益			227	227						227
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)										
連結会計年度中の変動額合計	1	1	101	104	2	6	8	33	0	41
平成27年5月31日残高	1,166	1,234	3,191	5,592	3	△21	△17	67	168	5,811

## 個別決算概要

### 単体貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科 目	平成27年5月期 (平成27年5月31日現在)	平成26年5月期 (平成26年5月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	3,039	3,701
固定資産	9,920	10,065
有形固定資産	276	279
無形固定資産	214	239
投資その他の資産	9,429	9,546
繰延資産	22	24
<b>資産合計</b>	<b>12,982</b>	<b>13,791</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	2,695	3,194
固定負債	6,564	7,178
<b>負債合計</b>	<b>9,259</b>	<b>10,373</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	3,655	3,383
資本金	1,166	1,165
資本剰余金	1,234	1,232
利益剰余金	1,254	985
新株予約権	67	34
<b>純資産合計</b>	<b>3,722</b>	<b>3,418</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>12,982</b>	<b>13,791</b>

### 単体損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科 目	平成27年5月期 (平成26年6月1日から 平成27年5月31日まで)	平成26年5月期 (平成25年6月1日から 平成26年5月31日まで)
売上高	576	566
売上原価	0	4
売上総利益	576	562
販売費及び一般管理費	353	324
営業利益	222	237
営業外収益	367	294
営業外費用	168	233
経常利益	421	298
特別利益	0	9
税引前当期純利益	422	307
法人税、住民税及び事業税	83	79
法人税等調整額	△20	△29
<b>当期純利益</b>	<b>358</b>	<b>257</b>

## 会社概要

### 会社概要 (2015年5月31日現在)

設立 1984(昭和59)年 6月  
 社名 フーマライズホールディングス株式会社  
 資本金 1,166,423千円  
 本店所在地 東京都中野区中央1-38-1  
 主な事業内容 持株会社(調剤薬局事業などを営むグループ会社を統括する管理運営会社)  
 ホームページ <http://www.phamarise.com/>  
 主要取引銀行 株式会社三菱東京UFJ銀行  
                   株式会社横浜銀行  
                   株式会社みずほ銀行 他  
 連結従業員数 1,045名(非常勤含む)

### 大株主の状況 (2015年5月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
大野 利美知	3,159,900	35.1
中北薬品株式会社	396,000	4.4
株式会社バイタルネット	396,000	4.4
株式会社ほくやく	396,000	4.4
フーマライズ従業員持株会	367,400	4.1
大野 小夜子	253,200	2.8
エア・ウォーターストック会社	150,000	1.7
日医工株式会社	150,000	1.7
平松 仁	132,000	1.5
明治安田生命保険相互会社	100,000	1.1

### 役員 (2015年8月25日現在)

代表取締役社長 大野 利美知  
 専務取締役 秋山 昌之  
 専務取締役 岩崎 哲雄  
 常務取締役 大野 小夜子  
 常務取締役 小高 芳夫  
 取締役 菅野 洋  
 取締役(社外) 尾中 哲夫  
 取締役(社外) 渡邊 則夫  
 常勤監査役 加部 英視  
 常勤監査役(社外) 西郷 理夫  
 監査役(社外) 佐藤 勝

### 主要仕入先

株式会社ほくやく 株式会社バイタルネット・中北薬品株式会社・株式会社ケーエスケー 他

### 主要な連結子会社 (2015年5月31日現在)

名 称	住 所	事業内容
フーマライズ株式会社	東京都中野区	
株式会社みなみ薬局	静岡県御殿場市	
株式会社南魚沼郡調剤センター	新潟県南魚沼市	
株式会社双葉	京都府京都市	
北海道フーマライズ株式会社	北海道苫小牧市	調剤薬局事業
株式会社三和調剤	東京都武蔵野市	
株式会社北町薬局	東京都練馬区	
株式会社テラ・ヘルスプロモーション	大阪府大阪市	
新世薬品株式会社	兵庫県淡路市	
フーマライズプラス株式会社	東京都中野区	
株式会社鬼怒川調剤センター	栃木県日光市	
株式会社エシックス	新潟県新潟市	
株式会社寿データバンク	栃木県足利市	医学資料保管・管理事業

### 株式の状況 (2015年5月31日現在)

発行可能株式総数 31,398,000株  
 発行済株式総数 9,004,460株  
 株主数 5,248名